

5. 精神障害者福祉の理論と相談援助の展開(135時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<p>・ 精神医療の特性(精神医療の歴史・動向や精神科病院の特性の理解を含む)と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する。</p> <p>・ 精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。</p> <p>・ 精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーション(精神科専門療法を含む)の知識と技術及び活用の方法について理解する。</p> <p>・ 精神障害者を対象とした相談援助技術(個別援助、集団援助の過程と、相談援助に係る関連援助や精神障害者と家族の調整及び家族支援を含む)の実際について理解する。</p> <p>・ 精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する。</p> <p>・ 精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する。</p>	<p>① 精神保健医療福祉の歴史と動向</p>	○ わが国の精神保健医療福祉の歴史と動向	
		○ 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷	
	<p>② 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識</p>	○ 精神保健福祉士における活動の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会防衛 ・ Y問題 ・ 権利擁護 ・ 自立生活支援
		○ 精神障害者支援の理念	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノーマライゼーション ・ ストレNGTH ・ リカバリー ・ リジリエンス
		○ 精神保健医療福祉領域における支援対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神障害の概念 ・ 精神障害者の定義 ・ 精神障害者の特性 ・ その他(労働、司法、教育領域における対象者) ・ その他(自殺対策基本法、発達障害者支援法等の対象者)
	<p>③ 精神科リハビリテーションの概念と構成</p>	○ 精神障害者の人権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国連原則 ・ 欠格条項 ・ インフォームドチョイス ・ 権利擁護システム
		○ 精神科リハビリテーションの概念	・ リハビリテーションの歴史と概念
		○ 精神科リハビリテーションの理念、意義と基本原則	・ リハビリテーションの理念、意義と基本原則
		○ 精神科リハビリテーションの構成と展開	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク(地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む)の実際について理解する。 ・ 地域相談支援における医療機関、在宅医療サービスとの連携の意義と実際について理解する。 ・ 精神障害者の相談援助に係わる社会調査の意義、目的、概要及び活用について理解する。 	④ 精神科リハビリテーションのプロセス	○ リハビリテーション計画	
	⑤ 医療機関における精神専門療法とチーム医療における精神保健福祉士の役割	○ アプローチの方法	
		○ 精神専門療法	・ 作業療法及びレクリエーション療法、集団精神療法、行動療法、認知行動療法、SST(生活技能訓練)
		○ 家族教育プログラム	・ 心理教育
		○ 精神科デイ・ケア等	
		○ アウトリーチ	・ 精神科退院前訪問指導、精神科訪問看護・指導
		○ チーム医療の概要	
		○ 多職種との協働・連携	
	⑥ 精神障害者の支援モデル	○ 代表的な実践モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治療モデル(医学モデル、欠陥モデル) ・ 生活モデル(環境モデル、エコシステムモデル、社会モデル) ・ ストレングスマodel
	⑦ 相談援助の過程及び対象者との援助関係	○ 受理面接(インテーク)	
		○ 契約	
		○ 課題分析(アセスメント)	
		○ 支援の計画(プランニング)	
		○ 支援の実施(インターベンション)	
		○ 経過観察(モニタリング)	
		○ 効果測定と支援の評価	
		○ 終結とアフターケア	
	⑧ 相談援助活動のための面接技術	○ 面接を効果的に行う方法	・ カウンセリング技法

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
	⑨ 相談援助活動の方法(医療施設、社会復帰施設、地域社会を含む)	○ 個別支援の実際と事例分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病及び障害に配慮した個別支援展開(危機介入アプローチ、生活支援の援助技術) ・ 精神障害者の主体性の尊重 ・ 個別支援の実際と適用分野 	
		○ 集団を活用した支援の実際と事例分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病及び障害に配慮した集団支援の展開 ・ 集団を活用した支援の実際と適用分野[デイケアとグループワーク、SST(生活技能訓練)、セルフヘルプグループ(自助グループ)] 	
		○ 具体的事例検討		
	⑩ 家族調整・支援の実際と事例分析	○ 精神障害者と家族との関係		<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族療法的アプローチ
		○ 家族支援の方法		
	⑪ スーパービジョンとコンサルテーション	○ 具体的事例検討		
		○ スーパービジョンの方法と展開		
	⑫ 地域移行の対象及び支援体制	○ コンサルテーションの方法と展開		
		○ 地域移行支援の対象		
		○ 地域移行の体制		<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科病院の体制 ・ 地域移行支援の体制
		○ 精神保健福祉士の役割と多職種との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉士の業務内容 ・ 精神保健福祉士の専門性と役割 ・ 多職種との連携(チームアプローチ) ・ ACT、PACT
		○ 地域移行に係る組織や機関		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会
○ 地域移行を推進する制度、施策				
○ 具体的事例検討				

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑬ 地域を基盤にした相談支援の主体と対象(精神障害者の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢、医療、福祉の状況を含む)	○ 地域相談支援の主体	
		○ 地域相談支援の対象	
		○ 地域相談支援の体制	
		○ 具体的事例検討	
	⑭ 地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ネットワーク ・ 地域生活支援事業と訪問援助 ・ 家族会および自助グループ ・ 精神保健ボランティアの育成と活用
	⑮ 精神障害者のケアマネジメント	○ ケアマネジメントの原則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適用と対象 ・ 人権への配慮
		○ ケアマネジメントの意義と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメントの意義と方法 ・ 関係機関との連携
		○ ケアマネジメントのプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ インテーク ・ ニーズの把握とその評価 ・ 目標設定と計画的実施 ・ 包括的サービスの実現 ・ 評価
		○ チームケアとチームワーク	
		○ 具体的事例検討	
		⑯ 地域を基盤にした支援とネットワークキング	○ 地域を基盤にした支援の概念と基本的性格
		○ 地域を基盤にした支援の具体的展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノーマライゼーションの推進と住民参加 ・ 社会資源の活用と開発 ・ 地域社会における連携と調整機能 ・ 家族会、自助グループの支援 ・ ボランティア等地域マンパワーの育成と活用 ・ 地域生活支援活動
		○ 具体的事例検討	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑰ 関連組織・機関等の概要と専門職との連携	○ 福祉サービス提供施設・機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰施設 ・ グループホーム ・ 小規模作業所 ・ 相談支援事業所 ・ 地域活動支援センター ・ 就労・生活支援センター ・ その他
		○ 行政機関等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉センター ・ 保健所 ・ 市町村 ・ ハローワーク ・ その他
		○ 精神科病院、精神科診療所等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主治医、精神保健福祉士、外来看護師 ・ 地域連携部門、デイケア部門、訪問看護部門(ステーション含む)
	⑱ 社会調査の概要(意義、目的、倫理、方法)と活用	○ 社会調査の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠にもとづいた実践
		○ 社会調査の対象	
		○ 社会調査における倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会調査における個人情報保護
		○ 量的調査の方法と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全数調査と標本調査 ・ 横断調査と縦断調査 ・ 自形式調査と他形式調査 ・ 測定の水準、信頼性と妥当性 ・ 質問紙の作成方法と留意点 ・ 調査票の配布と回収 ・ 集計と分析
	○ 質的調査の方法と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察法 ・ 面接法 ・ 記録の方法と留意点 ・ データの整理と分析 	
	○ ICTの活用方法		

6. 精神障害者の制度と福祉サービス(45時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する。 精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する。 精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する。 更生保護制度と医療観察法について理解する。 	① 精神保健福祉法の意義と内容	○ 精神保健福祉法の意義と内容	<ul style="list-style-type: none"> 法律の目的、地方精神保健福祉審議会及び精神医療審査会、精神保健指定医、入院形態、精神障害者保健福祉手帳 その他
	② 精神障害者の福祉制度の概要と福祉サービス	○ 精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割	
	③ 精神障害者に関連する社会保障制度の概要	○ 障害者基本法と精神障害者施策との関わり	
	④ 相談援助に係わる組織、団体、関係機関及び専門職や地域住民との協働	○ 障害者自立支援法における精神障害者の福祉サービスの実際	
		○ 精神障害者を対象とした福祉施策・事業の実際	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者が利用する福祉サービスに特化した国・都道府県・市町村の制度や事業
		○ 医療保険制度の意義と内容	
		○ 介護保険制度、の意義と内容	
		○ 経済的支援に関する制度の意義と内容	<ul style="list-style-type: none"> 所得保障(障害年金・手当・生活保護・労災・その他の災害補償)、税金控除
		○ 行政組織と民間組織の役割と実際	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体、社会福祉法人、特定非営利活動法人、社会福祉協議会、民生委員、児童委員、自治会、ボランティア組織、企業 その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ インフォーマルな社会資源の役割と実際	・ 家族、セルフヘルプグループ、ピアヘルパー ・ その他
		○ 専門職や地域住民の役割と実際	・ 精神保健福祉士、社会福祉協議会の地域福祉専門活動委員、介護相談員、認知症サポーター ・ その他
	⑤ 更生保護制度の概要と精神障害者福祉との関係	○ 更生保護制度とその担い手	
	⑥ 更生保護制度における関係機関や団体との連携	○ 司法・医療・福祉の連携 ○ 保護観察所の役割と実際	
	⑦ 医療観察法の概要	○ 医療観察法の意義と内容	・ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律
		○ 社会復帰調整官の役割と実際	
	⑧ 医療観察法における精神保健福祉士の専門性と役割	○ 精神保健参与員の役割と実際	
		○ 入院者・通院者に関する処遇	・ 指定入院医療機関、・指定通院医療機関

7. 精神障害者の生活支援システム(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する。 精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。 職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動(その他の日中活動支援を含む)について理解する。 行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する。 	① 精神障害者の概念	○ 精神障害の特性と人としての一般性	
	② 精神障害者の生活の実際	○ 精神障害者の生活実態	
	③ 精神障害者の生活と人権	○ 精神障害者の生活支援の理念と概要	
	④ 精神障害者の居住支援	○ 地域生活における精神障害者の人権	
		○ 住居支援制度の概要	
		○ 住居支援に係わる専門職の役割と連携	
⑤ 精神障害者の就労支援	○ 住居支援の実際		
	○ 住居支援における近年の動向と課題		
	○ 関係する組織、団体、専門職、自助組織等との連携	・ 国・都道府県・市町村の役割と連携	
	○ 就労支援制度の概要	・ 障害者雇用促進法、ジョブガイダンス	
	○ 就労支援に係わる専門職の役割と連携		
⑥ 精神障害者の生活支援システム	○ 就労支援の実際		
	○ 就労支援における近年の動向と課題		
	○ 関係する組織、団体、専門職、自助組織等との連携	・ 国・都道府県・市町村の役割と連携、ハローワークとの連携	
	○ 精神障害者の自立と社会参加		

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 福祉的就労をはじめとする一般就労以外の生活支援の実際	
		○ ソーシャル・サポートネットワーク	
	⑦ 市町村における相談援助	○ 精神保健福祉相談員	
	⑧ その他の行政機関における相談援助	○ 都道府県、保健所、精神保健福祉センター等における精神保健福祉士の機能と役割	

人体の構造と機能及び疾病(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する。 リハビリテーションの概要について理解する。 <p>※ 社会福祉士に必要な内容となるよう留意すること。</p>	① 人の成長・発達	○ 身体の成長・発達	
	② 心身機能と身体構造の概要	○ 精神の成長・発達	
		○ 老化	
		○ 人体部位の名称	<ul style="list-style-type: none"> 頭部、頸部、胸部、背部、腹部、四肢、体幹、脊柱、血管 その他
		○ 各器官等の構造と機能	<ul style="list-style-type: none"> 血液、呼吸器、消化器、泌尿器、循環器、支持運動器官、内分泌器官、神経系、感覚器、皮膚、生殖器 その他
	③ 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要	○ 国際障害分類(ICIDH)から国際生活機能分類(ICF)への変遷	
		○ 心身機能と身体構造、活動、参加の概念	
		○ 環境因子と個人因子の概念	
		○ 健康状態と生活機能低下の概念	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	④ 健康の捉え方	○ 健康の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・ WHO憲章による健康の定義 ・ その他の定義
	⑤ 疾病と障害の概要	○ 疾病の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悪性腫瘍、生活習慣病、感染症、神経・精神疾患、先天性・精神疾患、難病 ・ その他
		○ 障害の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、発達障害、認知症、高次脳機能障害、精神障害 ・ その他
		○ 精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-IV)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-IV) ・ その他
	⑥ リハビリテーションの概要	○ リハビリテーションの概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーションの定義、目的、対象、方法 ・ その他

心理学理論と心理的支援(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。 人の成長・発達と心理との関係について理解する。 日常生活と心の健康との関係について理解する。 心理的支援の方法と実際について理解する。 <p>※ 社会福祉士に必要な内容となるよう留意すること。</p>	① 人の心理学的理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心と脳 ○ 情動・情緒 ○ 欲求・動機づけと行動 ○ 感覚・知覚・認知 ○ 学習・記憶・思考 ○ 知能・創造性 ○ 人格・性格 ○ 集団 ○ 適応 ○ 人と環境 	
	② 人の成長・発達と心理	○ 発達の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達の定義、発達段階、発達課題、生涯発達心理、アタッチメント、アイデンティティ ・ 喪失体験 ・ その他
	③ 日常生活と心の健康	○ ストレスとストレスラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストレスラー ・ コーピング ・ ストレス症状(うつ症状、アルコール依存、燃え尽き症候群(バーンアウト)を含む。) ・ ストレスマネジメント ・ その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	④ 心理的支援の方法と実際	○ 心理検査の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人格検査、発達検査、知能検査、適性検査 ・ その他
		○ カウンセリングの概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ カウンセリングの目的、対象、方法 ・ ピアカウンセリングの目的、方法 ・ その他
		○ カウンセリングとソーシャルワークとの関係	
		○ 心理療法の概要と実際(心理専門職を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神分析、遊戯療法、行動療法、家族療法、ブリーフ・サイコセラピー、心理劇、動作療法、SST(生活技能訓練) ・ 臨床心理士 ・ その他

社会理論と社会システム(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会理論による現代社会の捉え方を理解する。 ・ 生活について理解する。 ・ 人と社会の関係について理解する。 ・ 社会問題について理解する。 <p>※ 社会福祉士に必要な内容となるよう留意すること。</p>	<p>① 現代社会の理解</p>	○ 社会システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会システムの概念、文化・規範、社会意識、産業と職業、社会階級と社会階層、社会指標 ・ その他
		○ 法と社会システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法と社会規範 ・ 法と社会秩序 ・ その他
		○ 経済と社会システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場の概念 ・ 交換の概念 ・ 労働の概念 ・ 就業形態 ・ その他
		○ 社会変動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会変動の概念、近代化、産業化、情報化 ・ その他
		○ 人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口の概念、人口構造、人口問題、少子高齢化 ・ その他
		○ 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の概念、コミュニティの概念、都市化と地域社会、過疎化と地域社会、地域社会の集団・組織 ・ その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 社会集団及び組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会集団の概念、第一次集団、第二次集団、ゲゼルシャフト、ゲマインシャフト、アソシエーション、組織の概念、官僚制 ・ その他
		○ 家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の概念、家族の変容、家族の構造や形態、家族の機能 ・ 世帯の概念 ・ その他
		○ 生活の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージ ・ 生活時間 ・ 消費 ・ 生活様式、ライフスタイル ・ 生活の質 ・ その他
		○ 社会関係と社会的孤立	
		○ 社会的行為	
		○ 社会的役割	
		○ 社会的ジレンマ	
		○ 社会問題の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会病理、逸脱 ・ その他
○ 具体的な社会問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別、貧困、失業、自殺、犯罪、非行、公害、社会的排除、ハラスメント、DV、児童虐待、いじめ、環境破壊 ・ その他 		

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 ・ 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 ・ 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 ・ 福祉政策の課題について理解する。 ・ 福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む。)について理解する。 ・ 福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む。)の関係について理解する。 ・ 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 	① 現代社会における福祉制度と福祉政策	○ 福祉制度の概念と理念	
		○ 福祉政策の概念と理念	
		○ 福祉制度と福祉政策の関係	
		○ 福祉政策と政治の関係	
	② 福祉の原理をめぐる理論と哲学	○ 福祉の原理をめぐる理論	
		○ 福祉の原理をめぐる哲学と倫理	
	③ 福祉制度の発達過程	○ 前近代社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救貧法、慈善事業、博愛事業、相互扶助 ・ その他
		○ 近代社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦後の窮乏社会と福祉、経済成長と福祉 ・ その他
		○ 現代社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新自由主義、ポスト産業社会、グローバル化、リスク社会、福祉多元主義 ・ その他
	④ 福祉政策におけるニーズと資源	○ 需要とニーズの概念	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要の定義、ニーズの定義 ・ その他
		○ 資源の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源の定義 ・ その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑤ 福祉政策の課題	○ 福祉政策と社会問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困、孤独、失業、要援護（児童、高齢、障害、寡婦）、偏見と差別、社会的排除、ヴァルネラビリティ、リスク ・ その他
		○ 福祉政策の現代的課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的包摂、社会連帯、セーフティネット ・ その他
		○ 福祉政策の課題と国際比較（国際動向を含む。）	
	⑥ 福祉政策の構成要素	○ 福祉政策の論点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、自己選択とパターンリズム、参加とエンパワーメント、ジェンダー、福祉政策の視座 ・ その他
		○ 福祉政策における政府の役割	
		○ 福祉政策における市場の役割	
		○ 福祉政策における国民の役割	
		○ 福祉政策の手法と政策決定過程と政策評価	
		○ 福祉供給部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府部門、民間（営利・非営利）部門、ボランタリー部門、インフォーマル部門 ・ その他
			33

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 福祉供給過程	・ 公私(民)関係、再分配、割当、 行財政、計画 ・ その他
		○ 福祉利用過程	・ スティグマ、情報の非対称性、 受給資格とシティズンシップ ・ その他
	⑦ 福祉政策と関連政策	○ 福祉政策と教育政策	
		○ 福祉政策と住宅政策	
		○ 福祉政策と労働政策	
	⑧ 相談援助活動と福祉政策の 関係	○ 福祉供給の政策過程と実施 過程	